

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業の概要

事業名	一般国道159号 羽咋道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：石川県羽咋市四柳町 至：石川県羽咋郡宝達志水町二口	延長	6.7km		
<p>事業概要</p> <p>国道159号は、石川県七尾市と県庁所在地である金沢市とを結ぶ主要幹線道路である。羽咋道路は、国道159号の一部を形成するもので、羽咋市と宝達志水町間を結ぶ、延長約6.7kmのバイパス事業である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>羽咋道路は、現道部の渋滞・交通事故の改善と、能登有料道路（平成26年に無料化予定）とネットワークを形成し七尾市および羽咋市等の中能登地域から県庁所在地である金沢市とのアクセス性向上を目的とした事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当該区間では、朝夕の渋滞と交通事故の多発が大きな問題になっており、バイパスで迂回させることにより渋滞緩和ならびに交通事故対策を早期に図る必要がある。 ●当該区間は路肩が狭く、冬期には積雪による交通障害が発生しているおり、バイパスで迂回させることによる、冬期交通障害の早期解消を図る必要がある。 ●平成26年に予定されている能登有料道路の無料化に伴い、当該区間の交通量増大が見込まれることから、能登有料道路へのアクセス向上を早期に図る必要がある。 <p>全体事業費 150億円 計画交通量 17,900～21,200台/日</p> <p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

羽咋道路は、石川県の「ダブルラダー結いの道構想」に位置付けられた道路である。当該区間はその実現に不可欠な路線であり、「国道159号羽咋道路整備促進期成同盟会」などから早期整備の要望をされていると共に平成17、18年度には、シンポジウムの開催や住民参加による「まちづくり構想」がとりまとめられている。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
手続きの完了：平成12年度に環境影響評価、平成13年度には都市計画決定が完了している。

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.6	総費用：147億円 （事業費：116億円 維持管理費：31億円）	総便益：388億円 （走行時間短縮便益：387億円 走行費用減少便益：-1.7億円 交通事故減少便益：2.9億円）	基準年 平成19年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.4 (交通量 -10%)	B/C=2.9 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=2.4 (事業費 -10%)	B/C=2.9 (事業費 +10%)		
	事業期間変動	B/C=2.5 (事業期間 -2年)	B/C=2.7 (事業期間 +2年)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	渋滞損失時間の削減が図られる 【渋滞損失時間の改善】約184万人時間/年→約121万人時間/年（約63万人時間/年削減） 【1kmあたり渋滞損失時間】約4.9万人時間/年・km（現況） 石川県平均：約2.1万人時間/年・km（約2.3倍） 全国平均：約2.0万人時間/年・km（約2.5倍） 【その他の特徴】 ・混雑多発箇所が1箇所解消（本江町交差点）		
		事故対策	◎	死傷事故率300以上の現道問題箇所1箇所を回避し、交通の安全性が向上する。 【死傷事故率】約382件/億台キロ（現況） 石川県平均：86.0件/億台キロ（約4.4倍） 全国平均：115.3件/億台キロ（約3.3倍） 【事故率曲線】石川県内区間の上位1割に含まれる 【その他の特徴】死傷事故率300以上の問題箇所が1箇所存在（飯山交差点）		
	社会全体への影響	歩行空間	○	現道は通学路でありながら歩道の整備状況が約55.7%と低く、幅員狭小区間も存在し、通過交通が転換することにより歩行者の安全性が向上。		
		住民生活	○	近年の医師不足により、能登地域で唯一の第三次医療施設「公立能登総合病院」から金沢方面へ移送するケースが発生。羽咋道路の整備により七尾市から金沢市の救急医療施設へのアクセス向上（約67分→約59分 約8分短縮）		
		地域経済	○	能登半島屈指の観光資源である「千里浜なぎさドライブウェイ」等を有する羽咋市と、奥能登観光の玄関口である七尾市とのアクセス向上（約30分→約27分 3分短縮）		
		災害	○	第一次緊急輸送道路に指定 「県土ダブルラダー結いの道構想」で能登有料道路等の代替路線として位置づけられている国道159号の機能強化		
環境		○	【CO2排出削減量】約72,173t-co2/年→約70,365t-co2/年（1,808t-co2/年削減、約3%削減） 【NOx排出削減量】約221.9t-no2/年→約212.5t-no2/年（9.4t-no2/年削減、約4%削減） 【SPM排出削減量】約21.21t-spm/年→約20.21t-spm/年（1.0t-spm/年、約5%削減）			
地域社会	△	JR七尾線羽咋駅へのアクセス向上が見込まれる（1日上下線併せて66本の列車が運行（H19.3）、約2本/時間1方向）				
事業実施環境	○	平成18年度には、住民参画のもと「羽咋市・宝達志水町広域まちづくり構想」がまとめられた。また、11月には「美しい國能登から考えるまちづくりシンポジウム」が開催されるなど、地域の意識も高まりを見せており着実な事業実施が可能。				

採択の理由

費用便益比が2.6と便益が費用を上回っているとともに、環境影響評価や都市計画決定の手続きを完了し、地域住民の合意形成がなされていることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また当該事業箇所の渋滞損失時間、死傷事故率ともに高くまた、事業実施による改善効果が期待できることに加え、能登有料道路へのアクセス向上等波及効果は高いと判断される。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。